

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



2013.5 vol.5  
**tag**  
たぐ

# 大人もわくわく 大好きな絵本

**み** さんには思い出の絵本、特別な絵本はありますか？  
自分で読む、誰かに読んでもらう、誰かに読んであげる。絵本にはいろいろな楽しみ方があります。

**そ** んな絵本を通して、地域の子どもや大人が集まれる場をつくりたいと夢見る多賀城在住の保育士、和久由紀恵さん。子どもの頃から絵本が大好きなのだそうです。

**今** までは参加者として、絵本関連を含めさまざまなイベントに足を運んでいた和久さんですが、今回は自分自身ではじめてのイベントを企画しました。その名も「wakuwaku カフェ」。

**参** 加者が絵本を持ち寄ってお互いに紹介します。会場は岩切駅前の小さなカフェ「cafe wacca」(実はオーナーも多賀城在住です)。参加した5名はおいしいコーヒーを味わいながらゆったりと大好きな絵本について語り合いました。

**小** さなイベントですが、夢の実現に向けて新しい一歩を踏み出した和久さん。次なる一歩も企画中とのことです。



和久由紀恵さん

**ヒント from “たがさぽPress”**  
たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

- 名刺の裏が白紙なら…** 2013年4月29日(月)掲載  
活動資金で困っていませんか? そんな時には名刺を活用。名刺もアイデア次第でいろんなことができちゃうんです。
- 活動の中で培われたノウハウ集** 2013年4月25日(木)掲載  
活動していく中で困っていることがある、という方に役立つノウハウ集。他の団体がどのように工夫しているか覗いてみましょう。
- 新しい活動の仲間を迎えるために** 2013年4月11日(木)掲載  
一緒に活動するボランティアを集めたい! と考えている方へオススメの1冊をご紹介します。ボランティア受け入れのコツを伝授。

**“たがさぽPress”とは?**  
たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! \*ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



**たがさぽからのお知らせ**  
たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

## たがさぽ文庫のご案内

たがさぽの図書貸し出しスペース「たがさぽ文庫」に新しい本たちがやってきました。何かはじめていたいと思っている人には一歩ふみだすきっかけを、すでに活動している人にとっては新しい視点や活動のヒントを与えてくれるので、ぜひご覧ください。

- 失敗しないNPO**
- 動物たち03.17**
- 3・11のキロク、そしてイマ。**
- 私たちが記録**
- 阪神大震災被災した**
- はじめての手製本**
- 製本屋さんが教える本のつくりかた**
- 「遊びの都市」/「つなぐ」からのひろがり**
- 「まちは歩きが観光を変える」**
- 「長崎のくまノプテナーノット」**

# 私にも何かできる!?

## 「好き」と「得意」が多賀城を元気にする!!

ママサークル「スマイルガーデン」や多賀城駅前の「みんなのマルシェ(手作り市場)」などで活躍する丑田明希さん。今回は丑田さんの活動をはじめたきっかけや想いについてうかがいました。

### — 丑田さんが活動をはじめたきっかけは何ですか? —

もともと私は資格を生かしてベビーマッサージ教室を開いていたのですが、参加者とお話する中で「ママ同士で情報交換や交流がしたい」「地域の育児サークルは気が引けてしまう」という声がありました。そこで、子育て中のママが気軽に参加し息抜きができる場、アロマ・ヨガ・料理などのそれぞれが得意なことを教え合って自分磨きをしていく場として、ママ友や教室の参加者と一緒に「スマイルガーデン」という団体を立ち上げました。それがはじめての市民活動ですね。

### — 震災後の活動について教えてください —

震災前から多賀城市立図書館で絵本の読み聞かせボランティアを行い、子どもたちと関わっていました。そのことを活かして、震災後に避難所となっていた多賀城市文化センターにて、子どもの居場所づくりのお手伝いをはじめました。その時に折った折り紙や画用紙に書いた絵を使って避難所でバザーを開こうと考えていたのですが、避難者のいる場所で賑やかなイベントを行ってよいのか、時期や場所がふさわしくないのではないかと感じました。そこで、誰もが立ち寄れる多賀城駅前を会場に手作りマルシェを実施することになりました。6月に実施するマルシェで4回目を迎えます。

### — 丑田さんにとっての「みんなのマルシェ」とは? —

「みんなのマルシェ」では、関わってくれた人がそれぞれ得意なことを生かしてお店やワークショップの出店、会場の飾りつけ、人脈を生かしてお店の出店交渉やボランティアスタッフ集めをしてくれています。「スマイルガーデン」でもメンバー同士がお互いに得意なことを教え合っていました。それと同じようにマルシェをきっかけに「私も好きなこと、得意なことで何かできるかも!」という人が現れ、新しく楽しいことがもっとたくさん多賀城で起こってほしいと思っています。「マルシェを通していろんな方と出会えた」「これからもマルシェを続けてほしい」といった声もいただきました。小さな活動ではありますが、こうした出会いとにぎわいの場をつくり続けていきたいです。



うしだ あき  
丑田明希さん

ステキな時間  
がすごせるよ

マルシェのようす

あそびに  
きてね

## イベントに行ってみよう

多賀城や周辺地域のイベントをご紹介します

そんな丑田さんが仕掛ける「みんなのマルシェ」が今年も開催! 飲食ブース、ワークショップブース、物販ブースなどのお店が多賀城駅前を彩ります。手作りの楽しい空間にぜひ足を運んでみてください。

日にち	6月1日(土) ※雨天時は6月2日(日)に順延
時間	午前10時~午後4時
会場	JR仙石線多賀城駅前半円公園
E-mail	minnano_marche@yahoo.co.jp
ブログ	http://ameblo.jp/minnano-marche/
主催	みんなのマルシェ実行委員会

## ちょっと気になるあのコトバ

新聞などでよく見る市民活動に関する言葉をサクッと解説

## ワークショップって何?

「みんなのマルシェ」では、お菓子のミニチュア作りや石けん作りなど、単に作品を見るだけでなく実際に制作を体験することができます。

これらは「ワークショップ」と呼ばれ、講義のように一方的に知識を伝えるのではなく、参加・体験しながら学び合ったり、何かを創り出したりする方法のことです。「作業場」という語源からも分かるように、

たくさんの方が共同で場を作り上げることもポイントです。

実施の方法はさまざまで、座って考えることもあれば、時には歌って踊ることも。また、体験することに加えて、みんなで感想などを共有することで、一人では気付かなかった視点に気付くきっかけにもなります。新たな発見が連続のワークショップ。主役は参加者のみなさんです。



「tag」には、多賀城(tagajo)の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



「たがさぽ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします!  
@tagasapo



「たがさぽ」ホームページはこちら  
http://www.tagasapo.org/